



3年生を送る会を行いました

2月26日、これまでお世話になった3年生に感謝の思いを伝える、3年生を送る会を行いました。前半の講演会では2017年から1年間を第58次日本南極地域観測隊調理担当として勤務された内村光尚（うちむらみつなお）さんのお話を聞きました。講演では南極の昭和基地での調理担当としてのお仕事の様子、南極でしか味わえない経験や現象について、クイズを交えながら楽しくお話をしていただきました。マイナス30度以下になる南極ではバクテリアが発生しづらく、何万年前に死んだアザラシが腐敗せずほぼそのままの姿で残っているそうです。また、講演の最後に見せていただいたオーロラの映像はとても印象的でした。太陽が昇らない極夜を迎えている時期には、きちんと食事をとることで体の調子を狂わさないようするためにも、内村さんたち南極料理人のみなさんの果たす役割は大きいと思いました。内村さんは、来年度も2回目の南極観測隊の調理担当の募集に応募されるそうです。今回の講演では経験やチャレンジすることの素晴らしさ、人から感謝される生き方の大切さをお話しいただき、卒業生にとっても在校生にとっても貴重な機会となりました。そのあと、在校生からの部活ビデオメッセージ、3年生の3年間の思い出を振り返る思い出ビデオの上映、3年生の先生方からの出し物などがあり、あと1週間ほどで卒業する3年生との別れを惜しむ会となりました。

卒業式の練習が始まりました

3年生の卒業式まで、あと数日となりました。2月27日より卒業式の練習が始まっています。入退場の練習、卒業証書の授与の仕方、生徒会が行う「思い出」の練習などを行っています。学校において儀式的行事は、入学式、卒業式がありますが、特に卒業式は3年間過ごした学校、仲間、教職員との別れの間ということもあり、大変大きな意味のある行事となります。中部中学校では、担任が一人ずつ呼名し、卒業証書を生徒に渡します。3年間を終える思い、3年間の感謝の思い、これまで育ててくださったお家の方への感謝の思いをこめ、大きな声で返事をしてほしいと思っています。練習



では3年生の生徒のみなさんは、しっかりとした意識をもって臨んでいました。そして、式歌「旅立ちの日に」の歌声にも大変力がこもっていました。素晴らしい卒業式になることと期待しています。

東日本大震災から14年になります！②

平成23年3月11日に発生した巨大地震(東日本大震災)の発生から間もなく14年になります。前回に引き続いて、防災について考える機会をもっていただきたいと思います。資料を掲載しました。

今回は、「通学路での安全な場所と避難行動」についてです。登下校中に大地震が発生した際に、避難する場所をあらかじめ確認しておく必要があります。お家の人も確認しながら、「場所」「安全と思う理由」「揺れが収まった後の行動」についてまとめてみましょう。

場所としては、〇〇公園、〇〇コンビニ駐車場などがあげられます。揺れが収まった後は、安全な学校や指定避難場所、家が近い場合は家に行くことが考えられます。

(2) 通学路での安全な場所と避難行動

あなたの通学路の近くにある「安全と思われる場所」とその理由を書いてください。また、揺れが収まった後の行動も書きましょう。

場 所	安全と思う理由	揺れが収まった後の行動
例) 〇〇工場の駐車場	広くて、 周りに何も無い。	近くの △△小学校へ行く。

※公共交通機関を利用する人は、最も利用する手段について、調べてみましょう。

交通機関名	地震時の対応	安全になった後の行動

ヒント 何に対して「安全」かによって、考え方を考える必要があります。津波が来る恐れのある場合、まず揺れから身を守り、その後すぐ高いところへ避難すること、また、大きな地震が起きて避難した後、さらに大きな地震が発生することも想定して次の行動を考えるなど、二段構えの対応をしましょう。



対策 大規模災害時は、通信全般に規制がかかりますので、災害用伝言ダイヤル(171)を利用しましょう。また、家族と、災害時の避難先やお互いの連絡手段を話し合っておきましょう。